

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 2号)

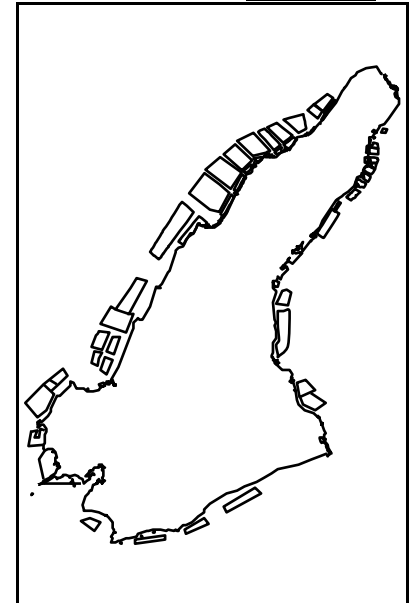
2020年10月26日発行
 兵庫のに研究所

大型珪藻コシノディスカスは海域毎により発生量に大小見られますが、前回(10/20)調査時と比較し減少していました。栄養塩は北淡一宮、東浦南部及び南浦海域で1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台、東浦北部海域で2~3 $\mu\text{g at/L}$ 台、西浦の五色から湊周辺では5~6 $\mu\text{g at/L}$ 台でした。

(珪藻ほか)

各地点のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。
 北淡一宮: 350~450細胞、江井~湊: 0~130細胞、阿万: 150細胞
 東浦: 300~350細胞、塩田: 850細胞
 10/20の採水サンプルでは全般に1000~1500細胞確認されており、今回サンプルでは減少しているものの淡路周辺海域としては依然やや多い状況。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.8	2.3	4.9	6.3
	リン	0.33	0.43	0.53	0.60
西浦地先	窒素	0.8	3.0	5.1	4.3
	リン	0.33	0.64	0.59	0.53
南浦地先	窒素	0.8	2.9	4.4	3.0
	リン	0.26	0.54	0.59	0.42

(10/20)

(10/25)

栄養塩 (窒素) 図

2020年10月26日調査

